

廿九日朝刊
(タ刊と合せて八夏)

發行所 東京 日本報社
 電話 編輯部 二六六 印刷部 二六六
 東京 日本報社 印刷部 二六六

京城日報

に表裏に現はれる。幸には大分前から少しづつ裏石を打て置いたので何と突然の金では無かつたのであるが、これにしても袁氏が折角出資上つた共和制を帝制に改め自分は大陸統から皇帝と名を變へようとした原因は何であらうか、大抵の人は之を袁氏の野心に歸し言ひたい。僕の惡鳥を遣はしうする、日本の袁反論者は大部分其流のやうに見受けられるが吾々の觀る所ではどうも一概に左様ばかりは謂へない様に思はれる。前駐支公使の伊集院氏も言つて居られるが、全體今頃の即位計畫其事が實は袁氏の遣口としては少々變なもので袁氏が天津東津浦の發案で我意に任せて往々突然な事を工む人なら成程こんな計畫も建て兼ねない、處が實際に於て袁氏は支那人としては後らしい

觀察

の即位運動は袁世凱氏一己の野心を
 無意味に止めたといひ、併し其よりも
 大きな理由は前清の末から急激に成
 る當路者の頭を激刺した中央集權完
 成の理想であつて新政問題は實は此
 思想が變形に發達した結果の様な
 思想と共に近年深く支那人の頭に
 輸入つて苟も機會があれば隨分
 實現な事までして此方針の遂行に努
 めてゐるが利權回收の事は姑く措き
 中央集權完成の爲めには苦心して地
 方政府の縮小を圖り官制を改革して
 從來總督巡撫分駐の地方では其巡撫
 の方を原して什舞ふやら地方官憲の
 權限を削つて事務の幾分を中央政府
 の管轄に移すや更に行政區域を縮
 小して從來の省を道に分つて其外
 地方官は地方官は是斯き地

八、咸南の浦輪

ものとして、若し聯合國にして、眞に世界平和の爲めに、今日の戰を辭せざりしものとせば、即ち平和の絶對保障せらるゝまでは、飽く迄協力し此筋を挫かずんばある可らず。聯合國が獨逸を屈服せしむるまでは戰爭は長時日に亘るべしと雖も、その長引くだけ聯合國の勝味となるに反し獨逸は困憊すべく、殊に獨逸の平生最も恐るゝ露國が、其の戦進に於ける眞價を充分に發揮するは當に今後にあるべく、現に聯合國間に經濟同盟の實現せられむとするが如きに鑑みても、今日獨逸の船運行動に乗るが如き愚策は、決して聯合國の軌ちざる所ならむ。

八、咸南の浦輪

養氣、兵法、武藝、(續)

太祖移しに臨み、沈勇にして機智あり、思慮周到、勢力剛毅なりしは亦成南の戰況によりて之を察することを得べし。太祖の氣を養ひしや、淨水寺の讀書室に於て、又無學禪師に依り得たるころ、少ならずしや、意も疑を容れず。北條時宗の如きも、平常佛光國師に就き精神を練磨せし故、當く十萬の元寇を壓にしてしなり。佛光國師は有名な明僧にして、師が未だ支那に在るや、元軍の襲撃を被り、其兵大亂を振て師の頭に上り、乾せしとせ、師劔を自若として、乾地無損、卓拔第一、意得金法亦云。

大元三尺劍、電光影里斬春風。

最後に説きたる又最も必要なる氣
 事は、他の要素即ち景、あり

武藏ある事よも爲し得るものにして、太祖も亦武蔵とに特にして、太祖も亦武蔵とに特にして、
むとこあり、益々其勇を振ひしものなりん。明智先秀が頼田信長を襲ひしとき、
報本能寺に至るや、初は新参者の却て勇猛かりしも、戰隙に臨んで
は怯れ恐れ、古参兵の勇戦に比すべくもあらざりしと云ふ。關ヶ原の役は人多く徳川方の初よりの必勝を思ふ、然れども事實は然らざりしなり、
小早川秀秋毛利秀元の裏切無かりしかば、江戸の覇業は成し得られざりしなり、然るに家康深く進で敵の陣營たる南宮山下の桃畑野に旗幟を立て、軍を顧みしこと、是亦我の

あり、其身に恃む所あるは、

中して敵に近づき得る利あり。蓋
 武藝の勇を生ずるは同一の趣旨に
 づ右述たるは太粗に對する評述
 武士の鑑とすべき事なるが武道に
 修練は其形式に於てこそ異なり其
 趣に於ては移して以て吾人各體の
 務を執る者も亦守りて一日も怠る
 からざるることなりと信ず。之を要
 商に移して云へば、謀は業務の計
 執の方法なり、兵法は業務に關
 する書籍、新聞、雜誌の記事及び先
 人の談話等なり。武藝は事務の取
 柄、記帳算盤、作文、書畫、機織又
 は、刀剣等を用ふる事、機關銃、火
 及、手算又は音響辨別、同音字、

眼の妻笑ひ泣きする
ききは女なりけりされどまたよき

著れば美しかりけり
 折々草 京橋 萩 花
 心に歌書くわれは愚かしや針の
 事に姉は迫はるる
 雪道で犬 瑞興 阿平 落馬
 恋しげに小宵かかげつ我が心讀む
 になつて小犬可愛き

日 報 俳 壇 橘下郎彦

談 雪
 や人いつ減りし悲戻り 樫黄子
 や炊き女難い雪の雪 同
 終て膝に敷く衣春の雪 山 民
 に漕ぐ人見し汽車の窓 容 堂
 の家また起き春の雪 朝外雪
 きるに夜鴉の鳴く雪 多摩女
 に繩結ひ止められ河原哉 拙子郎

や手水鉢に入るゝ温泉 同

雪防温泉

此四傑作あり

王

見意良改

全

飯

口女學
口來客面
口婦人
辰谷川

口劍太士
口茶と砂
口假名

半一錢

不老樹調べ 博士 名 物 製
糖の品質見別け方
此うけ上手に書ける
名家
夫人
質賄
の
炊方
生世間を此う見る
取次ぎと給仕の仕方
便秘の治療法
時雨女史苦心の作

六二三京東營振社本日之業協倫京東錢十三圓二册四十年

炊方

賢所御神
外雲列御
佛觀大使

戦争は婦
 飛行機
 嫁入りの
 青春期を
 簡易生活
 日本及日本
 貧兒の救済
 大や猫の病
 正しき姿勢は
 病氣に罹らぬ
 乳児に牛乳の
 春のお化粧
 田中周郎・騰

小説お夏

東京 振替 四九百番

白川宮妃殿下……

[illegible]

下田次郎、坂野龜代野一、輪出元
 九死に一生を得經驗
 〇結と嫁とは互に心を廣くせよ 久野昌一
 〇私の成功は妻の助けた 久野昌一
 〇勝負手口かゝる和洋折衷の生活 矢島樹十
 〇見た東京郷元帥の生活 定
 〇我國に救はれた私の半生 濱田正雄
 〇夫婦別居に倣ふ西洋の家庭 一
 十九歳三人供の繼母 信子
 黃菊白菊 (長篇小説) 後藤富外
 子供に金錢を與可否 野村胡堂
 〇魚の山來世 藤田鳴鶴
 〇虎吉の夢 日比谷嘉子
 〇外國人に嫁した日本人の家庭 矢島樹十
 〇家庭の重責と妻の生命保險 (其他) 矢島樹十
 〇婦人の身略 衣服の色と柄、其他 矢島樹十
 社會百生活 (前家計研究實際) 矢島樹十
 物價騰貴と家の覺悟 矢島樹十

家 庭 教 育

授乳と病氣の手術に就ての経験
初めの二兒を亡くした経験
子供の胎毒を治した経験
脚氣の乳で愛兒を殺した後悔
失敗なしに子供を育てた偉業
刑父が厳し過ぎて愛兒を亡くした経験

長女と長男に就ての異つた経験
上流と下層とに就ての異つた経験
養育の遅い子供を持つ母の苦心
老人のある家の子供の教育難

二つの惡癖を直した経験
義母の惡癖を直した経験
祖父の愛に耐へた経験
母親ある子の惡癖に苦しみ母を救ふ経験

家庭に於ける慈父の價值
子供の性質を見え教育せよ
新時代の新しい親の問題
家庭教育の根本問題
中學生を持つ家庭への忠告
優等生は斯んな家庭から
不良兒は斯んな家庭から
二人の不良兒を感化した母
五男二女の教育の経験

小學校校入學教育

子供徳と惡徳

[illegible]

<p>雪中梅</p> <p>ト田歌子女史執筆の小説</p> <p>金婚式を擧ぐ久野氏夫妻 弱體婦人の壯健法</p> <p>新渡</p>	<p>女一心</p> <p>博士</p> <p>手紙書方と返事の出し方 繪畫に上達する婦人 有利婦人の内職レース編み 波邊霞亭先生の一大傑作</p>	<p>龍卷</p> <p>日本大木老樹調へて林檎茶と砂糖の品質見別り方 假名此うれば上手に書ける</p>	<p>飯炊方</p> <p>實驗 夫人 名家</p> <p>女學生と世間を此う見る 來客取次ぎと給仕の仕方 婦人便秘の治療法 長谷川時雨女史苦心の作</p>	<p>みどり</p>
--	---	---	---	-------------------

婦人畫報

家庭小説
婦女界特別號
 本號特價二十五錢郵費二
 牛車達三
 振富東京三〇二

うらなか
 美人面用
 女上粧

閑院宮久邇宮兩妃殿
 伏見宮嵯峨山階宮姬亭
 北白川宮三姬殿

戰爭は 飛行機は 嫁は 入口は 青春期は 簡易生活は

日本及日本の女性
 貧兒の救護は婦人の力
 正しき養育は健康を増す
 病氣に罹る乳児の持方
 春の化粧
 女本博士
 女本博士
 女本博士

長崎の夏交代
 小説
 小説
 小説

東京
 振富東京三〇二

東京
 振富東京三〇二

東京
 振富東京三〇二

[illegible]

汕頭の人心恟々 鐵道運

○現行法令繼續宣布

次郎氏任命せらるべく

正二位公爵二條基弘
堂上華族保護資金調査委員被免

數に達せり(東京特電)

長江三母家

是は二十八日左

從四位勳三等 鑑・木
慶尙北道長官(二等)
隨する正寄附は四月申
にて目下當局は一件書

三月はつ中旬ちゆうぐんに於ける朝餼あさけ

忠清北道參 俞 星 寵

前年同期に比し増減の

を概述せんに
左に主要貨物の
示せり

十四噸の減退を示せり

網子金鏤沈は感慨深き一場の談話
 なしたり(東京特電)
 十八噸之れに亞げり

し四月一日から
來本品は例年三月中旬から

襄度こころ量はかり望のぞ望み 丁てい青あお美み裁き路ち

大工 工部省

踏たる津康浦及び載寧
月下句より開航の旨遞

に於て實行の事に決定

は、こゝろ遠く其の露布を見る

[illegible]

は極力豫防の注意をな
し、注意事項を印刷し冬

神武天皇祭は例年の如

公立簡易商業学校

國境間島

銅、砂金、金、石炭等
を産出する。見られたる山は

砂金(克洞)砂金(河東)砂金(

したるものにはあらず
山のみは日支合辦の大

極めて幼稚なる方

みならず借款契約既に

夜學校の紅羅を變更し

級副官安藝中佐は歸途
れて北向平壤に到り

附錄

邊遞信書記官來

[illegible]

て來釜直に東本願寺
廻の後龍山龍尾山北

傳はてしなく

將(新任師團長) 二十九日
司馬(戚北道長官) 廿八日

販路は吉村、同法

に過ぎずして、勿論


大なる設備を施す

萬斤、由て生ずる豆糖
りて云ふ。製粉、燒酎

何れも副業として之に

されしも此分にては

特價六拾四錢二割引期間は六月十五日迄期間後は必ず定價に復す
新案特許 三六二
九八號
タイヨ一萬年毛筆 (定價八十錢)



本品は從來有り觸れたるものと異り頗る苦心慘憺の結果實に精巧無比の製作品なれば如何なる文字も如何なる紙質と雖も自由に書き得るは勿論構造堅牢にして永く使用に耐へ穂首は取換自在なれば實用に適し且つ經濟なり尙普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁を入れば端書三百枚迄は書き得れば携帯用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も欠く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ

▲穂先は替穂があります
▲又携帶に便するためスクリツプもあります
壹個 金八錢
壹個 金五錢

發賣元 京城太平通堂丁目
振替京城三〇〇番

京 城 日 報 社 代 理 部

主家を顯著す 東京市神田一年橋原外十三丁目より集金したる五

京城日報

刊夕日八廿
發行所 東京市本町三丁目
電話 二二二二
定価 一月三圓 三月九圓 半年一五圓 一年二八圓
代金 郵便掛金 郵政省認可
印刷 東京市本町三丁目

●對南軍提出條件協議

徐國務卿提出意見書內容
二十五日徐國務卿提出對南軍提出條件協議意見書內容。徐氏在提出意見書時。對南軍提出條件協議。徐氏在提出意見書時。對南軍提出條件協議。徐氏在提出意見書時。對南軍提出條件協議。

●雲貴兩省へ通牒を發す

總統府會議の結果二十六日電貴兩省に對し左の通牒を發せり
總統府會議の結果二十六日電貴兩省に對し左の通牒を發せり。總統府會議の結果二十六日電貴兩省に對し左の通牒を發せり。總統府會議の結果二十六日電貴兩省に對し左の通牒を發せり。

●龍濟光の南北調停

龍濟光の南北調停
龍濟光の南北調停。龍濟光の南北調停。龍濟光の南北調停。龍濟光の南北調停。龍濟光の南北調停。龍濟光の南北調停。龍濟光の南北調停。龍濟光の南北調停。

●南軍態度強硬

南軍態度強硬
南軍態度強硬。南軍態度強硬。南軍態度強硬。南軍態度強硬。南軍態度強硬。南軍態度強硬。南軍態度強硬。南軍態度強硬。

●英獨艦隊大海戰説

英獨艦隊大海戰説
英獨艦隊大海戰説。英獨艦隊大海戰説。英獨艦隊大海戰説。英獨艦隊大海戰説。英獨艦隊大海戰説。英獨艦隊大海戰説。英獨艦隊大海戰説。英獨艦隊大海戰説。

●對支貿易順調

對支貿易順調
對支貿易順調。對支貿易順調。對支貿易順調。對支貿易順調。對支貿易順調。對支貿易順調。對支貿易順調。對支貿易順調。

●銀行業者の招宴

銀行業者の招宴
銀行業者の招宴。銀行業者の招宴。銀行業者の招宴。銀行業者の招宴。銀行業者の招宴。銀行業者の招宴。銀行業者の招宴。銀行業者の招宴。

●岡陸相の歸隊

岡陸相の歸隊
岡陸相の歸隊。岡陸相の歸隊。岡陸相の歸隊。岡陸相の歸隊。岡陸相の歸隊。岡陸相の歸隊。岡陸相の歸隊。岡陸相の歸隊。

●吉野博士出發

吉野博士出發
吉野博士出發。吉野博士出發。吉野博士出發。吉野博士出發。吉野博士出發。吉野博士出發。吉野博士出發。吉野博士出發。

●立花總長

立花總長
立花總長。立花總長。立花總長。立花總長。立花總長。立花總長。立花總長。立花總長。

●會議參列者

會議參列者
會議參列者。會議參列者。會議參列者。會議參列者。會議參列者。會議參列者。會議參列者。會議參列者。

●郵船今期配當

郵船今期配當
郵船今期配當。郵船今期配當。郵船今期配當。郵船今期配當。郵船今期配當。郵船今期配當。郵船今期配當。郵船今期配當。

●教員檢定擴張

教員檢定擴張
教員檢定擴張。教員檢定擴張。教員檢定擴張。教員檢定擴張。教員檢定擴張。教員檢定擴張。教員檢定擴張。教員檢定擴張。

●故金氏の法要

故金氏の法要
故金氏の法要。故金氏の法要。故金氏の法要。故金氏の法要。故金氏の法要。故金氏の法要。故金氏の法要。故金氏の法要。

●京義沿線部隊觀察

京義沿線部隊觀察
京義沿線部隊觀察。京義沿線部隊觀察。京義沿線部隊觀察。京義沿線部隊觀察。京義沿線部隊觀察。京義沿線部隊觀察。京義沿線部隊觀察。京義沿線部隊觀察。

●伊大使入京期

伊大使入京期
伊大使入京期。伊大使入京期。伊大使入京期。伊大使入京期。伊大使入京期。伊大使入京期。伊大使入京期。伊大使入京期。

●愛婦會へ謝狀

愛婦會へ謝狀
愛婦會へ謝狀。愛婦會へ謝狀。愛婦會へ謝狀。愛婦會へ謝狀。愛婦會へ謝狀。愛婦會へ謝狀。愛婦會へ謝狀。愛婦會へ謝狀。

●第三艦隊解纜

第三艦隊解纜
第三艦隊解纜。第三艦隊解纜。第三艦隊解纜。第三艦隊解纜。第三艦隊解纜。第三艦隊解纜。第三艦隊解纜。第三艦隊解纜。

●軍司令官動靜

軍司令官動靜
軍司令官動靜。軍司令官動靜。軍司令官動靜。軍司令官動靜。軍司令官動靜。軍司令官動靜。軍司令官動靜。軍司令官動靜。

●橋本新師團長

橋本新師團長
橋本新師團長。橋本新師團長。橋本新師團長。橋本新師團長。橋本新師團長。橋本新師團長。橋本新師團長。橋本新師團長。

●運賃引上問題

運賃引上問題
運賃引上問題。運賃引上問題。運賃引上問題。運賃引上問題。運賃引上問題。運賃引上問題。運賃引上問題。運賃引上問題。

●沙里院

沙里院
沙里院。沙里院。沙里院。沙里院。沙里院。沙里院。沙里院。沙里院。

●川

川
川。川。川。川。川。川。川。川。

●海

海
海。海。海。海。海。海。海。海。

●邱大

邱大
邱大。邱大。邱大。邱大。邱大。邱大。邱大。邱大。

●山釜

山釜
山釜。山釜。山釜。山釜。山釜。山釜。山釜。山釜。

●忠

忠
忠。忠。忠。忠。忠。忠。忠。忠。

●對支外交重要閣議

對支外交重要閣議
對支外交重要閣議。對支外交重要閣議。對支外交重要閣議。對支外交重要閣議。對支外交重要閣議。對支外交重要閣議。對支外交重要閣議。對支外交重要閣議。

順化牛乳購買公告
順化牛乳購買公告。順化牛乳購買公告。順化牛乳購買公告。順化牛乳購買公告。順化牛乳購買公告。順化牛乳購買公告。順化牛乳購買公告。順化牛乳購買公告。

馬車備入公告
馬車備入公告。馬車備入公告。馬車備入公告。馬車備入公告。馬車備入公告。馬車備入公告。馬車備入公告。馬車備入公告。

人夫備入公告
人夫備入公告。人夫備入公告。人夫備入公告。人夫備入公告。人夫備入公告。人夫備入公告。人夫備入公告。人夫備入公告。

京府
京府。京府。京府。京府。京府。京府。京府。京府。

京府
京府。京府。京府。京府。京府。京府。京府。京府。

京府
京府。京府。京府。京府。京府。京府。京府。京府。

京府
京府。京府。京府。京府。京府。京府。京府。京府。

[illegible]

[illegible]

精米用 工業用
 石粉各種 蠟石粉
 各國荒切砂 クレール粉
 房州粉 磨砂各種
 大阪市南區難波櫻川一丁目「但し幸筋」
五 岸田登明雄商店
 電話西二五一四番
 振替大阪二〇一一〇番
 物價暴騰の爲一般値上致居候得共弊店の
 のみは當分従前通りの値段にて販賣可
 仕候何卒此際陸續御用命の程奉希上候

[illegible]

製品科目

精炭	鑛山	米用	金網	製紙
粉坑	用用	金網	軸木	乾燥
工用	金網	諸器	械取	付用
金網	金網	工業	用金	金網
龜農	甲形	金網	金網	金網

會社
田中英太郎商店

- ◎電氣諸機械器具及材料製造販賣
- ◎電氣工事一式設計監督請負
- ◎交直流用配電盤及蓄電池製造販賣

大阪市東區生玉町百八十五番地

发光舍電氣部

電話南三〇九七番 振替大阪二四二四番

舍主 木曾利兵衛
 主任技師 竹内新造
 技師 三村庄造

弊舍電氣部ニハ學識經驗アル専門技師専心從事シ電燈電力工事ノ設計並ニ請負ニ應ジ候間新設電燈會社ノ自家用工場用電氣工作物設立ノ御相談ニハ特ニ御便宜相計リ可申候何卒陸續御用命仰付被下度候

フンラーダーヤチンラフ

光輝赫々
工場及戶外作業用と
して需要益盛なり
最少費用 三百燭光一時間
自百燭光 石油五ク
至三千燭光 各種

商店、工場、土木、建築、鑛山、
船舶、家庭御用として好評蒙々
●往復端書カタログ贈呈

鐵道院御用品
河軍鎮守府



大阪西區南區川町
電氣西四八番

フンラーダーヤチンラフ製所

合資
會社

◎**精米ノ成功ヲ望ムハ精米機ノ撰擇ニアリ**
千萬言ノ自實自讃ハ一ツノ實驗ニ若カズ夙ニ天下
數島ノ聲名噴々タルヲ知テ未ダ其實物ヲ知ラザル
モノハ無キヲ保セズ然リ中ニハ會テ磨擦機ノ短所
アルヲ聞テ未ダ眞正ナル改良磨擦機ノ數島アルヲ
知ラザルモツアラシ數島ハ何所ノ地ニ於テモ他機
ノ對照試驗ニ倍々其成績ヲ確カメ聲價ヲ翹揚シツ
ツアリ數島ノ眞價ト宜益アル事ヲ知ラント欲スル
方ハ下名二御來車御覽驗ヲ給ラン事ヲ希望仕候
登津名金受

數島
譽牌領

大坂市江戶堀北通三丁目
今橋廣島出張所
今橋九州出張所

商標
製馬橋茶袋
八千代同茶袋
式馬國酒箱

廣島市猿猴橋町
佐賀市唐人町

今橋廣島出張所
電話一四二九番
今橋九州出張所
電話一三〇七番

新式精米機
今橋廣島出張所
今橋九州出張所

詳細說明書
請向本星次郎

日米商店東京支店

南大門通三丁目・電一七八四

運信省御用

英國製造材料

ラヂオ自轉車

實用堅牢

ケトン自轉車

稟告

株式會社輪業商會
を解散して之を繼
承し改めて當店直
轄を以て經營仕候
右は時運の要求と
今後の趨勢を慮り
鮮地輪界に對し聊
か當店の自由なる
努力を試み申度覺
悟に外ならず候幸
に倍舊の御眷顧を
希上候也
大正五年三月

日米商店

(本店支店)
(出張所)
東京 大塚
大阪 北區
名古屋 大塚

從來の專賣品以外

普通自轉車

一般部品

各種附屬品
一切取揃

特別廉價
發賣開始